

Lend a Hand
手を貸そう国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2003-10-15 第625回例会 NO. 14-14 2003-10-29 発行

◎司会 SAA委員会 小林 正

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎ロータリーソング「日も風も星も」
ソングリーダー 村上 久

◎お客様紹介 会長 大松 誠二

- ・東京八王子東RC 岩田 孝支 様
- ・岡山西南RC 椎原 裕二 様
- ・米山奨学生 金 今 善 様

◎会務報告 会長 大松 誠二

- ・10月8日、狛江RC担当でIMが行われ、多数の当クラブ会員が参加されました。御苦労様でした。講演会の中で『人と人が出会うと「ニコニコ・ハラハラ・ドキドキ」を感じられる』という言葉がありました。わがクラブの例会も、そういう機会であつたらいいと思いました。
- ・2005～2006年度の第2750地区ガバナー・ノミニに東京銀座RCの市川伊三夫氏が指名されました。
- ・第2750地区ローターアクトの講演会が開催されます。10月26日(日)「対人地雷について」というタイトルで、ローターアクトの目的である「国際理解の促進・世界平和への寄与」に基づく講演会です。わがクラブでも以前カンボジア地雷被害者へ義足・義手を送ろうという活動をしました。講演会への御参加をお



願います。

- ・10月20日(月)に振替移動例会による特別事業を開催します。「障害者のためのテニススクール」ですが実行委員会による準備は着々進んでいます。朝日新聞にも取材記事が掲載されました。会員の皆さんの御協力をお願いします。
- ・毎年行われています、「社会を明るくする運動」実施本部から感謝状をいただくことになりました。地区保護士会会長の津守会員も中心になって活動されていますが、わがクラブも続けてパレードに参加してゆきたいと思えます。
- ・入院中の小泉博会員はその後順調にリハビリに入り、11月には復帰されるようです。本当によかったですね。
- ・第6回定例理事会を例会後事務局にて開催します。

◎幹事報告 幹事 藤本 吉文

- ・来週水曜日の例会は20日(月)特別事業『テニススクール』に振替です。お間違えのないようお願いいたします。
- ・東京府中、東京狛江RCより例会変更のお知らせが来ています。
- ・9月の平均出席率をガバナー事務所に報告しました。75.20%でした。
- ・東京稲城RC週報、「ロータリーの友」インターネット速報(10/14)、ふくしだよりを回覧いたします。
- ・ロータリー入門書を注文される方は事務局まで。1冊¥700(送料別です。)



東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagr@cello.ocn.ne.jp【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階
【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30
【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文
【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝
【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澁川昇・高木淳光・由井眞司・小田泰機

【委員会報告】

◎特別事業Aグループ（車椅子テニススクール）

準備状況報告および当日（10月20日）実施要領説明

※配付資料参照

◎出席報告

出席委員会 小林 正

特別事業実行委員会 副委員長 宮村 宏

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 42名(出席免除者3名)
- ・出席者数 34名
- ・欠席者数 8名(事前MU0名)
- ・出席率 80.95%
- ・欠席者：藤原 正範、平野 行廣、小泉 博、
佐伯 和廣、菅井 信夫、高木 淳光、
吉沢 洋景、由井 眞司
- ・補填MU：なし

10/1 最終訂正出席率 83.33%



◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 高村 弘

東京八王子東RC 岩田 孝支様

皆様、こんにちは。私は2750地区職業奉仕委員を仰せつかっております岩田です。いつもお世話になっている大松会長に会いにきました。宜しくお願ひします。

大松 誠二 金さん、卓話宜しくお願ひします。

先日のIM後の反省会のおつり。

藤本 吉文 金さんの卓話、楽しみです。

伊澤ケイ子 今日から当社、灯油部門の始動です。寒い冬でありますように。杉野さん、お土産有難う。

萩生田政由 10/10～13に青森県白神山地へ行き、白神岳へ登り、ブナ林を歩きました。

田島真由美 金サン、卓話頑張ってください。

伊藤 英也 やっぱり健康が第一ですね。

北村 幸彦 10/11(土)菅平別荘において茶会と夜はフラメンコが月夜の中で行われ、幻想的な庭の宴が出来ました。

杉野志保子 何だか、お久しぶりですネ。金さん、卓話楽しみにしています。

津守 弘範 金さんの卓話、楽しみにしております。

村上 久 大分寒くなってきました。紅葉が待ち遠しいです。

小林 正 大松会長！先日はホテルが出展する勝沼のメルシャンワインフェスティバルへようこそお越し下さいました。

◎卓話

米山奨学生 金 今 善様

「何でも人々にして欲しいと望むことは人々にもその通りせよ」



米山梅吉氏のこの言葉の理解と、現代社会における人間関係の改善昂揚について語る。

本日の合計¥21,000(累計¥316,357)

◎点鐘

会長 大松 誠二
(例会担当：高木 淳光)

10月は 職業奉仕月間です。

「ロータリー知識」 入門編 <RIについて>

★「ロータリーの友」拾い読みコーナー★

「ロータリーの友」10月号より

「今日における職業奉仕の重要性について」

国際ロータリー理事・菅生 浩三氏の2003年1月アナハイム講演より

＊「職業という領域にこそ、ロータリーの本質があります。職業奉仕がロータリーの生命であり、金看板であるといわれるゆえんであります。ほかの奉仕団体と一線を画する根拠もここににあります。」と講演はスタート、職業奉仕の重要性が語られます。講演中盤に職業奉仕への認識を高める為、「ロータリアンの職業宣言」「職業奉仕に関する声明」が出てきますので、その要約を掲載いたします。

＊「職業宣言」

- 1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘ぜよ。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳的規範に対し、名実共に忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆その他事業または専門職務上関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
- 5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
- 7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当っては正直専一なるべし。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

＊「職業奉仕に関する声明」

職業奉仕は会員個人の責務とされてきましたが、1987～88年度RI理事会はこれを改め、ロータリアン個人と、ロータリー・クラブ双方の責務であるとしクラブ自身の行動に職業奉仕を生かすように採択しました。

(コーナー担当:正房 正孝・高木 淳光)

RIは、Rotary International (国際ロータリー)の略称です。世界各地のロータリークラブを会員とする組織で、クラブの連合体です。個々のクラブのメンバー(ロータリアン)は、会員ではありません。RIの前身は、1910年に結成された全米ロータリークラブ連合会(The National Association of Rotary Clubs)であり、これが1912年に国際ロータリークラブ連合会(The International Association of Rotary Clubs)に改組され、1922年にRIとなり、現在に至っています。このような連合組織が結成された経緯については、色々な事情があり、その役割にも変遷があったようですが、現在のRIは、ロータリーの思想(理念)の表現である綱領の制定やロータリークラブの標準的な定款、細則を定め、またロータリー思想の普及、ロータリークラブの設立、その援助あるいは運営の管理監督などについて中心的かつ指導的な役割を果たしており、RIで決められたことは、いずれも、各ロータリークラブの運営、活動の指針となっています。特に、歴代会長のモットーともいべきRI会長テーマは、その時々々のロータリークラブの活動指針となっており、現在の会長テーマはご承知のとおり「Lend A Hand」です。とはいえ、RIは、あくまでクラブの連合体ですから、RIと各ロータリークラブとの間には、組織的に見て、上部下部の区別はなく、各ロータリークラブの運営は、原則としてその自治に委ねられています。また、個々のロータリアンは、RIの会員ではありませんので、事実上RIの影響下にはありますが、直接その監督を受けることはありません。2003年6月末現在で全世界のロータリークラブの数は3万を超え、これを529の地区割りとして、各地区にガバナーという役員を置き、このガバナーがRIの意を体し、各クラブを巡回するなどして指導を行っています。ちなみに、今のRI会長は、Jonathan Majiyagbe(ジョナサン・マジアベ)というナイジェリアの人です。「ロータリーの友」にいつも写真付きで記事が掲載されていますから、顔なじみの方も多いことでしょう。

(コーナー担当 小田 泰機)

ポール・ハリスを我々の心に！ Part 9

ポールとフェイの冬のベア山登山を渋々認めた祖母は、何故かフェイには優しいところがあった。フェイならポールの行動を制することができると思ったのではないだろうか。祖母は揚げたてのドーナッツを袋一杯に入れてくれ、十分注意し早く家へ帰るよう忠告した。

その日の予報では天気が良いことになっていた。事実、最初のうちは好天だったが、空気が冷え込んで耳や鼻が痛い程だった。

エド・クラーク農場の先で石の柵を越え牧場に入り、ベア山の裾野の広々とした丘を登っていった。栄光ある探検隊を気取った二人は、コンパスで方向を探った結果、二人にとって数少ない未知のコースを選んだ。

午前中、コースの行く手に廃屋を発見、そこには汚い格好の男と少年が納屋で働いていた。声が届くところまで近づき大声で手を振ると少年は手を振ってくれたが、干し草を積み上げていた男は熊手に寄り掛かり無表情で二人を見つめた。何処へ行くのか訪ねられた二人はベア山に登ることを告げると男は「こんな天気の日にはベア山はやめた方がいい。今は日が照っているが夜までには雪になる。家があるなら引き返した方がいいよ。」と言って男と少年は仕事に戻った。

探検隊を気取る二人は祖母の作ってくれたドーナッツの昼食を食べ終わると農夫の予言を無視してベア山へ向かった。丘を越え谷を渡り、牧場や村を通り抜けていくうちに雪が段々ひどくなり、午後4時頃には進路の判別が困難になってきた。別に恐くはなかったが、方向転換して昼間であった農夫の家を探した方がよいと考えた。ところが、辺りは既に暗くなり始め戻り道が分からなくなっていた。



ポール達が探検を行なった思い出の田舎道
進退窮まった二人は偶然に古ぼけた納屋を見付け雪と風を避けることにしたが、寒さは防げず体のしんまで冷え込んでしまった。すると暖かそうな格好をしたスカンク

が一匹現れたが、二人に脅えたのかこそこそと逃げ出し、取り残された二人はますます心細くなってきた。

消 息

小泉さん、どうしていますか？



元気になった小泉 博会員！！

リハビリをマジメにやって早く帰っておいで！

(10月15日に大松会長、藤本幹事、澄川会員がお見舞いに行き、元気になった小泉会員に会って来ました。)

<小さな庭の片隅にホトトギスの花が咲きました。>



ホトトギス(ユリ科)

紫の斑点が鳥のホトトギスの胸の模様に似てることから”杜鵑草”、又は、油点のような斑紋から”油点草”の和名があります。